

美術部へようこそ! 埼玉県朝霞市立朝霞第五中学校

地元の特色を生かした作品づくりに取り組み、
地域との交流を大切にしている美術部取材しました。

写真／川原崎宣喜（右上写真は朝霞第五中学校提供）

国際的「壁画アート」に参加

縦1.5m×横3.6mのキャンバスに
広がる青い空、ドーム状の屋根をも
つモスク、ラクダ——。朝霞第五中
学校の美術部員が描くのは、ウズベ
キスタンの風景だ。大きなビニール
製シートに、絵筆を走らせる。

この取り組みは、「アートマイル国
際協働学習プロジェクト」の一環。同
プロジェクトは、一般社団法人「ジャ
パンアートマイル」が2006年より主
催し、「壁画アート」制作を通じて、
子どもに平和や環境について考えて
もらうことを目的としている。今年
は東京五輪開催を受け、各参加国を
イメージした「壁画アート」を各地
の学校が制作している。

同部では、インターネットでウズベ
キスタンについて調べた後、一人1
枚ずつ、小さな紙に下絵を制作。その
後、下絵の要素を組み合わせて構図
を決め、ビニール製シートにチョー
クで下書きをしてから、専用の絵の
具で着色していった。

2年生で部長の村山彩乃さんは「複
雑なモスクの文様を表現するのが大
変でした。初めて使う画材だったけ
ど、意外と塗りやすかったです」と
笑顔で話した。

個人も共同も全力で

2020年1月時点の部員は、1年生
12人、2年生17人の計29人。校内
の部活動でも上位の部員数で、なか
なかの大所帯だが、部員は学年の枠



を超えて仲がいい。美術室では、4
人1組の班ごとに机が並んでおり、
その班は学年混合で編成されている。
学期ごとに席替えも行う。

また、同部では年2回、個人の作
品をコンクールなどに出品している
が、部全体の共同制作にも力を入れ
ている。合唱コンクールや地域の祭
りの看板づくりも、活動の一つだ。
昨年の「3年生を送る会」では白黒
のアニメーションを制作し、全校生
徒の前で披露した。

自主性を重んじる活動

近隣地域との交流も活発だ。同部
は毎秋、埼玉県こども動物自然公園

で開かれる「アートフェスタ」に参
加している。この催しは、アートを
通じた公園活性化を目的に、近隣の
中高生美術部員が作品を展示するこ
うなもの。2019年には、各校がオ
リジナル絵馬をつくったり、合同で
ワークショップを行ったりした。

「活動を長続きさせるには、一人
一人が主体性をもつことが大切」と
話すのは、顧問の飯田成子先生。「壁
画アート」への参加も、「3年生を送
る会」のアニメーション制作も、部
員たちが自ら「やりたい」と声をあ
げ、先生は見守るだけだったという。
自主性を重んじる姿勢が、自由な創
作につながっている。



左／29人の大所帯だが、
部員は学年の枠を超えて仲よし。
メリハリをつけて、活動に取り組んでいる。
右上／合唱コンクールなどの校内行事の
看板をつくるのも、活動の一つ。
下／「アートマイル国際協働
学習プロジェクト」の一環で制作している
壁画アート。ウズベキスタンの
美しい風景が描かれている。

教室を飛びだして

みんなの参観日(岡山県立美術館)

美術の授業における学びをさまざまな人に感じてもらうと、
岡山県立美術館で始まった「みんなの参観日」をご紹介します。



広い世代が集まる美術
館で、小中学校の図工・
美術の授業を体感して
もらう企画展「みんなの参観日」が、
岡山県立美術館で始動した。

各地で開かれている児童生徒の美術
作品展とは、一味異なる。単に作
品だけを展示するのではなく、子ど
もたちが授業で使ったワークシート
なども一緒に並べることで、ありの
ままの制作過程を見てもらい、子ど
もの豊かな発想や個性を感じてもら
うことを目的としているのだ。

第1回は、1月12日～19日(前期)、
2月23日～3月1日(後期)に開かれ、
県内の小学校4校と中学校6校が参
加。会場では、地域の和菓子店と連
携して紙粘土で和菓子をつくる授業
や、自分の魅力をあらわす名刺づく
りの授業などの様子が、実際の作品

やワークシート、パネルの展示を通
して紹介された。

展示では、“上手”な作品だけを選
んで並べるのではなく、クラス全員
の作品を紹介しているのが特徴。同
美術館主任学芸員の岡本裕子さんは、
「あくまで『美術による教育展』なの
で、すべての子どもが感じた学びや
発見、先生が題材に込めたねらいや
仕掛けなどを感じてほしい」と力を
込める。

1月19日には、粘土で和菓子をつ
くるワークショップも開かれ、地元
の中学生をはじめ、未就学児から一
般まで幅広い世代が参加した。

今後も年1回のペースで継続し、
将来的には未就学児や特別支援学校、
高等学校にも対象を広げていきたい
という。多様な美術の授業を紹介し
ていくつもりだ。



粘土で和菓子をつくる授業を、
ワークショップで体験する参加者たち。

放課後

第17回

ART